

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第39週 （9月25日～10月1日）

## ★お知らせ

### ○RS ウイルス感染症に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第38週の6.73から第39週では5.00と減少しています。引き続き県全域から報告があり、幡多、高知市、須崎では減少していますが、安芸で急増、中央東で増加しています。

年齢別では、1歳以下の報告数が全体の67%を占めています。

病原体検出情報では第39週に幡多から搬入された検体で（臨床診断名は気管支炎）Respiratory syncytial virus Aが1例検出されています。

この病気は軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。特に、低出生体重児や心臓や肺に基礎疾患がある場合、神経や筋肉の疾患がある場合、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高まります。一方で、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があるため注意が必要です。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

予防接種ワクチンはなく、患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。また、早産児や慢性呼吸器疾患を有するハイリスクな乳幼児には重症化予防のため、パリビズマブ（抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体）の投与があります。（本剤の添付文書では、投与に際しては学会等から提唱されているガイドライン等を参考とし、個々の症例ごとに本剤の適用を考慮することとされており、保険適用となっています。）

#### ●厚生労働省 「RS ウイルス感染症 Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html)

#### ●国立感染症研究所 「注目すべき感染症 RS ウイルス感染症」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/541-disease-based/alphabet/respiratory-syncytial/idsoc/idwr-topic/7509-idwrc-1734.html>

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第38週の2.50から第39週では2.77と横ばいです。県全域から報告があり、須崎で急減、中央東、幡多で減少していますが、安芸、中央西で急増しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが13例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌を原因とする胃腸炎5例の報告もあります。

また、今シーズン初めて高知市内の保育所で9月26日付で高知市保健所からノロウイルスによる集団感染事例が発生し、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の注意喚起がありました（県内でも1例目の発生報告）。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが1年を通して発生しています。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）調理をする場合は、十分加熱（85℃で1分以上）しましょう。

また、細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱（85℃で1分以上）は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけて下さい。

#### ●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○咽頭結膜熱に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第38週の0.57から第39週では0.40と減少しています。安芸、中央東で急減、幡多では減少していますが、須崎で急増し注意報値を超えています。

咽頭結膜熱は、主にウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸いこんだり、手を介して口に触れたりすることで感染します。幼稚園、保育園、学校等の集団生活では手洗い、うがい等の予防対策に加えて、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。これらの感染症はほとんどの場合、予後良好です。しかしまれにですが重症化し、重篤な症状を呈することもありますので、早めに医療機関を受診してください。

☆野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便からSFTSウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトがSFTSを発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

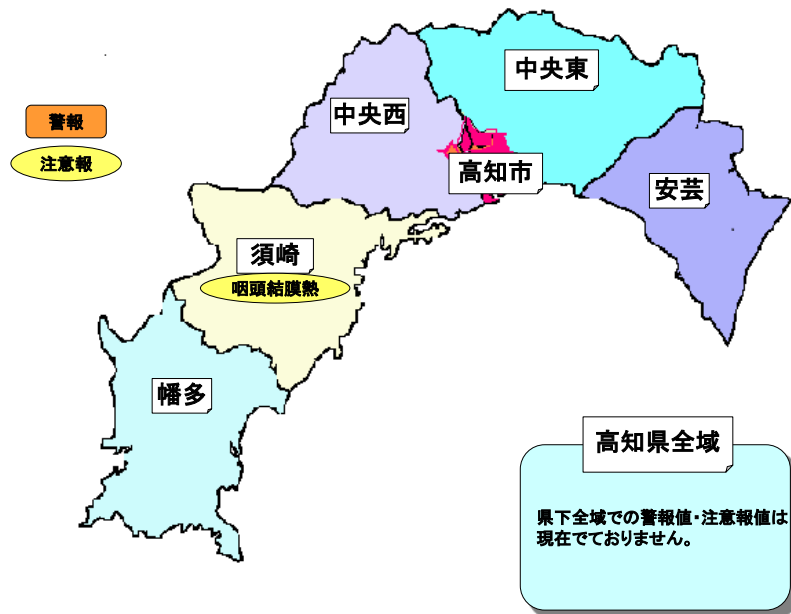
※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋  
※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
RSウイルス感染症	↘	5.00	県全域、幡多、高知市、須崎で減少していますが、安芸で急増、中央東で増加しています。
感染性胃腸炎	→	2.77	須崎で急減、中央東、幡多で減少していますが、安芸、中央西で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0.87	高知市で減少していますが、須崎、中央東で急増、幡多で増加しています。
手足口病	↘	0.43	幡多、中央西で急減、県全域、高知市で減少しています。
突発性発疹	→	0.43	中央東、安芸で急減していますが、須崎、中央西、幡多で急増しています。

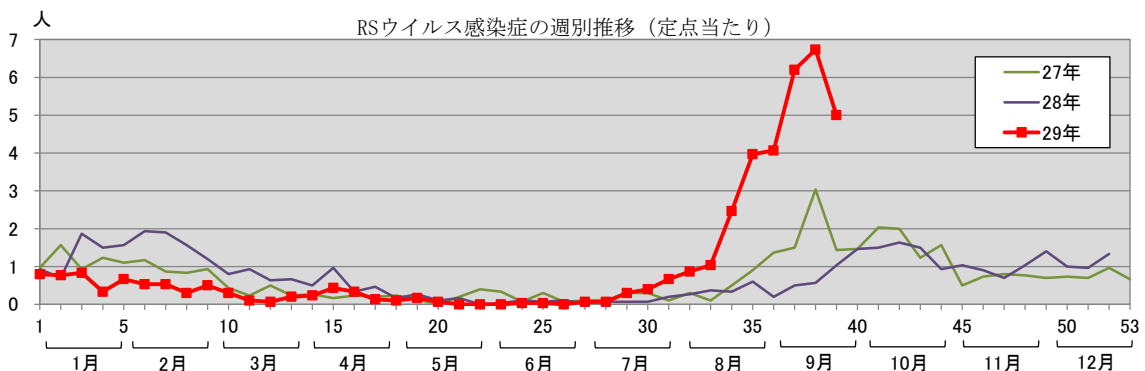
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

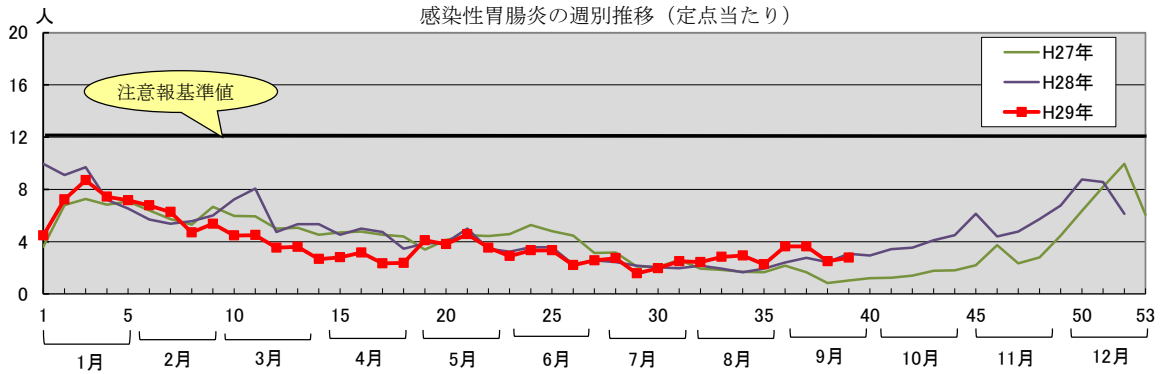
○RSウイルス感染症 第39週：5.00（注意報値：－ 警報値：－）

定点医療機関からの報告数は定点あたり 5.00（前週：6.73）と減少しています。幡多 11.00（前週：18.00）高知市 5.55（前週：7.55）須崎 3.00（前週：4.50）で減少していますが、安芸 1.00（前週：0.00）で急増、中央東 2.43（前週：1.29）で増加しています。



○感染性胃腸炎 第39週：2.77（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.77（前週：2.50）と横ばいです。須崎 1.00（前週：2.00）で急減、中央東 1.14（前週：2.14）幡多 0.40（前週：0.60）で減少していますが、安芸 6.00（前週：1.50）中央西 2.33（前週：0.67）で急増しています。



★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	83	80歳代 男	高知市
		1		80歳代 女	
		1		90歳代 女	
		1		80歳代 男	須崎
		1		50歳代 男	幡多
		1		70歳代 女	
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4	80歳代 女	高知市
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	16	80歳代 女	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
39	気管支炎	39℃, 咳嗽, 気管支炎,	2	女	幡多	Respiratory syncytial virus A

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
36	不明熱	38℃, 下痢,	6ヶ月	男	須崎	Enterovirus NT
36	不明熱	41℃,	1	女	須崎	Enterovirus NT
37	感染性胃腸炎	41℃,	2	女	須崎	Coxsackievirus B4
37	呼吸器感染症	上気道炎,	4	男	中央東	Enterovirus NT

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 2例 (1歳男、2歳男) アデノウイルス咽頭炎 1例 (7歳女)
中央東	早明浦病院小児科	E.coli O-6 1例 (1歳)
	野市中央病院小児科	サルモネラ O-7 腸炎 1例 (2歳男)
	高知大学医学部付属病院小児科	RS 気管支炎 1例 (1歳男)
	おひさまこどもクリニック	マイコプラズマ 2例 (12歳男、13歳女 : LAMP 陽性)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 12例 (1ヶ月男、3ヶ月男、3ヶ月女、4ヶ月男、5ヶ月女、6ヶ月男、 1歳男3人、1歳女2人、2歳女) 病原性大腸菌 1例 (0ヶ月男) ノロウイルス 2例 (8ヶ月男、14歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	ヒトメタニューモウイルス 1例 (1歳女) RS ウイルス感染症 6例 (1歳男女、2歳男2人、2歳女、3歳女) 溶連菌感染症 4例 ヘルパンギーナ 2例 感染性胃腸炎が流行してきた
	ふないキッズクリニック	ノロウイルス (迅速検査陽性) 3例 (1歳男女、2歳女)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 9例 (0歳、1歳3人、3歳4人、4歳) カンピロバクター腸炎 2例 (9歳、16歳)
	細木病院小児科	ノロウイルス 5例 (10ヶ月男、1歳男2人、2歳男2人)
中央西	日高クリニック	帯状疱疹 1例 (11歳男)
	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1例 (1歳女) 水痘 1例 (1歳女 : ワクチン1回接種済み)
須崎	もりはた小児科	RSV 感染 4例 感染性胃腸炎 (ノロ) 1例 (1歳男) マイコプラズマ肺炎 1例 (11歳女)
幡多	さたけ小児科	RS ウイルス 32例 (0歳5人、1歳7人、2歳11人、3歳4人、4歳4人、10歳以上1人) 帯状疱疹 1例 (6歳男) マイコプラズマ 1例 (2歳女)

★全国情報

第37号 (9月11日～9月17日)

1類感染症 : 報告なし

2類感染症 : 結核358例

3類感染症 : 細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症151例、パラチフス1例

4類感染症 : E型肝炎2例、A型肝炎2例、つつが虫病1例、デング熱5例、日本紅斑熱21例  
マラリア2例、ライム病1例、レジオネラ症36例、レプトスピラ症2例

5類感染症 : アメーバ赤痢14例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症27例  
急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例  
後天性免疫不全症候群17例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例  
侵襲性肺炎球菌感染症18例、水痘 (入院例に限る) 1例、梅毒79例、破傷風1例、  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例

報告遅れ : 細菌性赤痢1例、つつが虫病4例、デング熱2例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症5例  
レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症18例、急性脳炎5例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘 (入院例に限る) 3例、梅毒39例、  
播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、  
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例



高知県感染症情報(59定点医療機関)

第39週 平成29年9月25日(月)～平成29年10月1日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第39週							計	前週	全国(38週)	高知県(39週未累計) H29/1/2～H29/10/1	全国(38週未累計) H29/1/2～H29/9/24
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								( )	( )	894 ( 0.18)	14,649 ( 305.19)	1,369,473 ( 277.11)	
小児科	咽頭結核熱				8			2	2	12 ( 0.40)	17 ( 0.57)	1,202 ( 0.38)	339 ( 11.30)	65,197 ( 20.65)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	15	2	2	2	3	26 ( 0.87)	29 ( 0.97)	3,784 ( 1.20)	2,002 ( 66.73)	266,036 ( 84.27)
	感染性胃腸炎	12	8	52	7	2	2	2	83 ( 2.77)	75 ( 2.50)	8,191 ( 2.60)	4,486 ( 149.53)	639,397 ( 202.53)	
	水痘			4	2			3	9 ( 0.30)	6 ( 0.20)	620 ( 0.20)	454 ( 15.13)	40,921 ( 12.96)	
	手足口病		4	6	1				13 ( 0.43)	20 ( 0.67)	8,421 ( 2.67)	3,086 ( 102.87)	297,169 ( 94.13)	
	伝染性紅斑								( )	( )	116 ( 0.04)	109 ( 3.63)	9,423 ( 2.98)	
	突発性発疹		1	7	2	2	1	1	13 ( 0.43)	13 ( 0.43)	1,190 ( 0.38)	418 ( 13.93)	55,067 ( 17.44)	
	百日咳								( )	( )	22 ( 0.01)	21 ( 0.70)	1,156 ( 0.37)	
	ヘルパンギーナ		1	4				1	6 ( 0.20)	10 ( 0.33)	1,759 ( 0.56)	502 ( 16.73)	74,440 ( 23.58)	
	流行性耳下腺炎		2	1					3 ( 0.10)	1 ( 0.03)	974 ( 0.31)	179 ( 5.97)	64,266 ( 20.36)	
RSウイルス感染症	2	17	61	9	6	55	150 ( 5.00)	202 ( 6.73)	7,868 ( 2.49)	1,179 ( 39.30)	91,226 ( 28.90)			
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	4 ( 0.01)	( )	332 ( 0.48)		
	流行性角結膜炎							( )	( )	591 ( 0.85)	12 ( 4.00)	18,717 ( 26.97)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	15 ( 0.03)	2 ( 0.25)	384 ( 0.81)		
	無菌性髄膜炎							( )	( )	17 ( 0.04)	7 ( 0.88)	727 ( 1.52)		
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.13)	( )	144 ( 0.30)	74 ( 9.25)	5,752 ( 12.06)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	1 ( 0.13)	8 ( 0.02)	9 ( 1.13)	197 ( 0.41)		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							( )	( )	2 ( )	86 ( 10.75)	4,862 ( 10.19)		
計	14	37	159	23	17	66	316	( 10.50)		35,822	27,614	3,004,742		
(小児科定点当たり人数)	( 7.00)	( 5.28)	( 14.37)	( 7.67)	( 8.50)	( 13.20)					( 731.01)			
前週	5	36	192	20	15	106			374					
(小児科定点当たり人数)	( 2.50)	( 5.14)	( 17.37)	( 6.67)	( 7.50)	( 21.20)			( 12.43)					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第39週							計	前週	全国(38週)	高知県(39週未累計) H29/1/2～H29/10/1	全国(38週未累計) H29/1/2～H29/9/24
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ										0.18	305.19	277.11	
小児科	咽頭結核熱				0.73			1.00	0.40	0.40	0.57	0.38	11.30	20.65
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.57	1.36	0.67	1.00	0.60	0.87	0.97	1.20	66.73	84.27	
	感染性胃腸炎	6.00	1.14	4.73	2.33	1.00	0.40	2.77	2.50	2.60	149.53	202.53		
	水痘			0.36	0.67	1.50		0.30	0.20	0.20	15.13	12.96		
	手足口病		0.57	0.55	0.33			0.40	0.43	0.67	2.67	94.13		
	伝染性紅斑										0.04	3.63	2.98	
	突発性発疹		0.14	0.64	0.67	1.00	0.20	0.43	0.43	0.38	13.93	17.44		
	百日咳										0.01	0.70	0.37	
	ヘルパンギーナ		0.14	0.36				0.20	0.20	0.33	0.56	16.73	23.58	
	流行性耳下腺炎		0.29	0.09					0.10	0.03	0.31	5.97	20.36	
RSウイルス感染症	1.00	2.43	5.55	3.00	3.00	11.00	5.00	6.73	2.49	39.30	28.90			
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.48	
	流行性角結膜炎										0.85	4.00	26.97	
基幹	細菌性髄膜炎										0.03	0.25	0.81	
	無菌性髄膜炎										0.04	0.88	1.52	
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13		0.30	9.25	12.06		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.02	1.13	0.41		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										10.75	10.19		
計	7.00	5.28	14.37	7.67	8.50	13.20	10.50				731.01			
(小児科定点当たり人数)														
前週	2.50	5.14	17.37	6.67	7.50	21.20			12.43					
(小児科定点当たり人数)														

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2017年10月2日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。